

明治の文豪

なつめ そうせき

夏目漱石

Natsume Soseki



慶応3年(1867)～大正5年(1916)

東京生まれ

明治29年(1896)4月から明治33年(1900)年7月まで熊本に赴任

小説家、英文学者

東京帝大英文科を卒業後、松山中学、第五高等学校の英語教師を勤め、イギリス留学を経て、第一高等学校、東大の教壇きょうだんに立つ。高浜虚子たか はまきよ しの勧めで『吾輩は猫である』わが はいを『ホトトギス』に連載して以降、作家活動を始め。その後、朝日新聞社に入社して文筆活動に専念する。自然主義の告白性と対立する客観小説を完成。また、芥川龍之介あくたがわりゅう の すけ、久米正雄くめ まさおら多くの作家を育てた。作品に『坊っちゃん』『草枕』『三四郎』『こころ』など。